

博士課程教育リーディングプログラム 平成27年度プログラム実施状況報告書

| | | | |
|--------|-----------------|----------------|-------|
| 採択年度 | 平成24年度 | | |
| 申請大学名 | 京都大学 | 申請大学長名 | 山極 壽一 |
| 申請類型 | 複合領域型（情報） | プログラム責任者名 | 北野 正雄 |
| 整理番号 | K02 | プログラムコーディネーター名 | 石田 亨 |
| プログラム名 | デザイン学大学院連携プログラム | | |

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムでは、「デザイン学」を共通言語とする専門領域横断的な教育プログラムを編成し、協働を担い得る博士人材の育成を行う。即ち、様々な場面でイノベーションを主導し、社会を変革できる専門家の育成を目標とする。このような人材を、ジェネラリストを意味する「T字型人材（T shaped people）」と対比させ、専門領域を超えて協働し社会を変革できる突出した専門家という意味を込めて「十字型人材（+shaped people）」と呼び、本プログラムが養成すべき人材像とする。本プログラムでは、Cyber（情報学など）とPhysical（工学など）の専門家が、経営学、心理学や芸術系の専門家との協働を通じてデザインが行えるよう、総合大学の長を生かして、4つの研究科／専門職大学院（11専攻）が連携している。さらに、国内外のデザイン学を指向する大学院やそうした教育を求める産業界と連携し、6年の期間を通じて、国際標準と成り得るデザイン学博士課程を確立する。

2. プログラムの進捗状況

平成27年度は4月と10月にそれぞれ履修者選抜と第3年次編入履修者選抜を行い、14名の履修者（本科）と4名の履修者（予科）が加わり、履修者数は45名となった。また、学年進行に伴い、博士研究に必要な研究基礎力を審査するQualifying Examination（QE）を実施し、12名の履修者が合格している（この他、3年次編入履修者2名は平成28年4月にQEを受ける）。今年度は科目の英語対応を進め、英語科目および英語対応科目を24科目に増やし、グローバルな教育環境を整備した。さらに、博士教育科目であるオープンイノベーション実習、フィールドインターンシップ、リサーチインターンシップを開設し、専門家として異領域と協働する実践型教育を開始した。産学連携活動としては、デザインイノベーションコンソーシアムと連携し、サマーデザインスクール（28テーマに約300名が参加）を実施し、産学官の協働の場を形成した。国際連携活動としては、国際デザインシンポジウムを開催し欧米の大学・研究機関との連携を進めている。大学間連携活動としては、琉球大学や香港バプテスト大学と共にデザインスクール in 沖縄/香港を実施した。